新浜処理分区

２　０　２　６　年　度

福山市本庄町中二丁目地内

下水道施設長寿命化工事（８－６）実施設計書

路線名：

	当初			
工事概要	工事延長	117.4	m	
	管渠更生工（既設管径800mm）	115.2	m	
	マンホール管口耐震化工	4	箇所	

特　記　仕　様　書

第１章 総則

第１節 適用

1. 本特記仕様書は、福山市上下水道局工務部管路整備課の発注する工事に適用する。
2. 管渠更生工事を施工するに当たっては、技術者が認定等を受けている（公財）日本下水道新技術機構が建設技術審査証明した下水道管渠の更生工法（製管工法）で施工を行い、令和8年7月発刊（公社）日本下水道協会「管きょ更生工法における設計・施工管理ガイドラインー２０２６年版ー」で示す「要求性能」に適合する工法でなければならない。
3. マンホール更生工事を施工するに当たっては、技術者が認定等を受けている（公財）日本下水道新技術機構が建設技術審査証明した下水道管渠の更生工法（下水道用マンホール更生工法または防食工法）で施工しなければならない。

第２節 留意事項

1. 本特記仕様書に記載のない事項については、「福山市建設工事請負契約約款（契約書を含む）」、「設計図書（別冊図面、仕様書、現場説明書及び現場説明に対する質問回答書をいう）」、「福山市上下水道局建設工事施行規程」、「福山市上下水道局工事検査技術基準」、「福山市下水道構造標準図」、「下水道土木工事共通仕様書(案)-2021年版-〔（公社)日本下水道協会〕」、「広島県土木工事共通仕様書（令和8年8月）」、その他関係規則によるものとする。
2. 施工にあたり、日本国の関係諸法令、諸官公庁の通達、施工に関する協定事項等を遵守し、諸官公署への届出及び許可等の手続きを速やかに行ない、監督員に報告すること。
3. 施工にあたり、必要な事項及び固有の条件等は、この特記仕様書によるもののほか、別紙、施工条件表のとおりとする。なお、施工条件に変更が生じた場合は、監督員と協議すること。
4. 契約約款第３条に基づき、契約締結後１４日以内に工程表を作成し、提出すること。
5. 着工前に地元関係者と本工事の施工方法等について、十分に打合せ等を行い理解を得て円滑に工事が完成するよう努めること。
6. 工事開始日以降４０日以内に着手すること。
7. 本工事は、法定外の労災保険契約の保険料を見込んでいる。
8. 本工事は、供用している下水道施設の改築工事であるため、下水道施設の使用に支障とならないよう下水を通水させながら施工すること。

第３節 事業損失防止

1. 施工に伴い通常避けることができない地盤沈下、振動等を原因として生じた、建物等の損害等の補償に関しては、「福山市上下水道局建設工事損失補償事務特記仕様書」によるものとする。
2. 建物等の近接する区間の施工には、細心の注意をはらい施工すること。また、受注者は必要に応じて事前に建物等の調査を実施すること。なお、調査箇所等を変更をする必要がある場合は、別途、協議すること。
3. 事業損失が発生する可能性があるときは、監督員と協議すること。
4. 下水道施設に損害を与えた時は、ただちに監督員に報告し、その指示を受けるとともに速やかに現状復旧すること。
5. 作業にあたり、万一、注意義務を怠ったことにより、第三者に損害を与えた時は、その復旧及び賠償に全責任を負うこと。

第４節 提出書類

1. 受注者は、契約締結後、すみやかに次の書類を提出し、承諾を受けたうえ、作業に着手すること。
   ①現場代理人及び主任技術者等指名届
   ②工程表（契約締結後１４日以内）
   ③職務分担表
   ④緊急連絡届
   ⑤施工計画書
   「広島県土木工事共通仕様書」及びR8.7(社)日本下水道協会発刊「管きょ更生工法における設計・施工管理ガイドラインー２０２６年版ー」および各更生工法協会で定められている基準（以下「ガイドライン」とする。）に記載された施工計画書例に準拠し作成すること。更生工法は、採用工法により施工方法が異なっているため、工法ごとに定められた施工手順・管理手順・管理値等の必要事項と管理基準を記載すること。現場条件により通常の管理方法がとれない場合は、個別の現場条件に適正な記載内容とすること。
   ⑥工法承認願（（公財）日本下水道新技術機構で建設技術審査証明を受けたものの写し）
   ⑦酸素欠乏危険作業主任者届（酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習修了証の写しを添付のこと）
2. 提出した書類の内容を変更する必要が生じた時は、ただちに変更届を提出すること。
3. 受注者は、工事が完了した時は、すみやかに次の書類を提出すること。
   ①完成通知書
   ②提出図書１式
   「ガイドライン」に記載された特記仕様書例に準拠し作成すること。
   ③請求書
4. 前記各項のほか、監督員が提出するように指示した書類は、指定期日までに提出すること。

第５節 主任（監理）技術者の配置等

1. 主任（監理）技術者の専任期間等
   専任が義務付けられた工事に配置される技術者の専任期間について、次に掲げる場合で、打合せ簿等により、その旨を明確にしたときは専任を要しないものとする。なお、工期の終期が到来する前に工事完成検査が終了した場合の配置期間は、引渡しを受けた日までとする。
   ①契約書上の工期の始期から現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入または仮設工事等が開始されるまでの間）
   ②工事用地等の確保が未了、自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により、工事を全面的に一時中止している期間
   ③橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間
   なお、工場製作の過程を含む工事の工場製作過程においても、建設工事を適正に施工するため、主任（監理)技術者がこれを管理する必要があるが、当該工場製作過程において、同一工場内で他の同種工事に係る製作と一元的な管理体制のもとで製作を行うことが可能である場合は、同一の主任（監理)技術者がこれらの製作を一括して管理することができる。
   ④工事完成後、検査が終了し、事務手続きなどの残務があり、引渡しを受けるまでの期間
2. 主任（監理）技術者の変更の特例
   次に掲げる場合で、打合せ簿等により、その旨を明確にしたときは、主任（監理）技術者の変更ができるものとする。
   ①技術者の死亡、傷病、出産、育児、介護による就業不能、または退職等の真にやむを得ない理由により交代が必要と認められるとき
   ②受注者の責によらない理由により工事中止または工事内容の大幅な変更が発生し工期が延長されたとき
   ③橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場から現地へ工事の現場が移行する時点
   なお、いずれの場合も発注者と受注者との協議により、交代の時期は工程上一定の区切りと認められる時点とするほか、交代前後における主任（監理）技術者の技術力が同等以上に確保されるとともに、工事の規模、難易度等に応じ一定期間重複して工事現場に設置するなど、工事の継続性、品質確保等に支障がないと認められることが必要である。

第6節 地先住民等との協調

1. 受注者は、作業を実施するにあたり、地先住民等に作業内容を説明し、理解と協力を得ること。
2. 受注者は、地先住民等からの要望、もしくは地先住民等と交渉があった時は、遅滞なく監督員に申し出て、その指示を受け、誠意を持って対応し、その結果を速やかに報告すること。
3. 受注者は、いかなる理由があっても、地先住民等から報酬、または手数料等を受け取ってはならない。なお、下請負人及び使用人等についても、上記の行為の内容について、十分監督指導すること。
4. 使用人等が前項の行為を行った時は、受注者がその責任を負うこと。

第２章　施工

第１節　安全対策

1. 片側交互通行及び通行止め等の交通制限を行う場合は、関係官公署の許可条件を遵守し、安全かつ円滑な交通を確保して事故発生のないように努めること。
2. 作業現場、作業用地内の整理整頓に留意して必要な安全施設の設置等を行い、関係者以外の立入りを禁止して危険防止に努めること。
3. 路面の補修及び転落防止対策に努めるなど、交通及び保安上の十分な措置を講じること。
4. 作業時間外（夜間等）に交通制限を行う場合は、その範囲を最小限とし夜間の保安施設は注意灯、回転灯及び防護柵等を設置して十分に配慮すること。
5. 施工に伴い事故が発生した場合は、迅速に所要の措置を講じるとともに、事故発生の原因及び経過、並びに事故による被害の内容等について、速やかに「事故等速報」等により、監督員に報告すること。
6. 受注者は、公衆公害、労働災害及び物件損害等の未然防止に努め、労働安全衛生法、酸素欠乏症等防止規則、並びに建設工事災害対策要綱等の定めるところに従い、その防止に必要な措置を十分講ずること。
7. 作業中は、気象情報に十分注意を払い、豪雨出水、地震等が発生した場合は、ただちに対処できるよう「局地的な大雨に対する下水道管渠内工事等安全対策の手引き(案）平成２０年１０月」を基に対策を策定し、施工計画書に記載すること。
8. 事故防止を図るため、安全管理については、施工計画書に明示し、受注者の責任において実施すること。

第２節　安全教育

1. 受注者は、作業に従事する者に対して、定期的に当該作業に関する安全教育を行い、作業員の安全意識の向上を図ること。
2. 受注者は、労働省令で定める酸素欠乏危険作業に係る業務について、特別な教育を行うこと。

第３節　労働災害防止

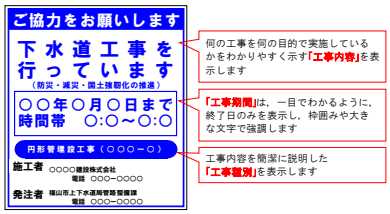
1. 現場の作業環境は、常に良好な状況に保ち、機械器具その他の設備は常時点検して、作業に従事する者の安全を図ること。
2. マンホール、管渠などに出入りし、またはこれらの内部で作業を行う場合は、労働省令で定める酸素欠乏危険作業主任者の指示に従い、酸素欠乏空気、有毒ガスなどの有無を、作業開始前と作業中に常時調査し、換気等事故防止に必要な措置を講じるとともに、呼吸用保護具等を常備すること。
   なお、酸素及び硫化水素の測定結果は、記録、保存し、監督員が指示を求めた場合は、その指示に従うこと。
3. 作業中、酸素欠乏空気や有毒ガスなどが発生した場合は、ただちに必要な措置を講ずるとともに、監督員及び他関係機関に緊急連絡を行い、その指示により、適切な措置を講ずること。
4. 資格を必要とする諸機械を取扱う場合は、必ず有資格者をあて、かつ、交通誘導警備員を配置すること。

第４節　公衆災害防止

1. 作業中は、常時作業現場周辺の居住者及び通行人の安全、並びに交通、流水等の円滑な処理に努め、現場の保安対策を十分講ずること。
2. 作業現場には、管渠更生工事と明示した標識を設けるとともに、通行人、車両交通等の安全の確保に努めること。
3. 作業区域内には、交通誘導警備員を配置し、車両及び歩行者の通行の誘導、並びに整理を行うこと。
4. 作業に伴う交通処理及び保安対策は、本仕様書に定めるところによるほか、関係官公署の指示に従い、適切に行うこと。
5. 前項の対策に関する具体的事項については、関係機関と十分協議して定め、協議結果を監督員に提出すること。

第５節　現道工事における保安施設

1. 保安施設は、「広島県土木工事共通仕様書」による現道工事における保安施設配置図（案）及び保安施設設置基準を基本とし、現場条件等に応じ適切に実施すること。ただし、「工事表示板」及び「工事情報看板」、「工事説明看板」、「まわり道案内表示板」の標準様式については、次のとおりとすること。なお、この標準様式によらない場合は、監督員と協議すること。
2. 保安施設のうち工事情報看板の設置時期については、工事現場周辺の住民及び道路利用者等に十分周知の図れるよう事前に設置すること。また、その他の保安施設の設置時期は、現場着手にあわせて適切な時期に設置すること。
3. 作業休止中（休日等）で通行に支障のない場合は、作業のないことの周知が図れるように標識等を撤去またはシート等でかくす等、措置すること。
4. 施工に伴い止むを得ず路面に段差が生じた状態で交通開放する場合は、通行者に周知が図れるよう警戒看板等を設置するとともに、通行者の安全に十分配慮すること。
5. 台風等により暴風雨等が予測される場合は、保安施設（工事看板等）が頑丈に固定されていることを確認するとともに、設置場所等の状況によっては、一時撤去し、飛散しないように最善の策を講ずること。
6. 「工事表示板」、「工事情報看板」、「工事説明看板」、「まわり道案内表示板」の標準様式については、次のとおりとする。なお、看板の寸法は、現場条件等に応じて適切な大きさとすること。



新しい路上工事看板（工事中看板）

（工事情報看板）

（工事説明看板）

（まわり道案内表示板）

第６節　交通誘導警備員

1. 交通誘導警備員を配置するにあたって、安全かつ円滑な交通が確保できるよう状況を十分に把握し、現場条件に応じた適正人員の確保及び配置を行うこと。また、交通誘導警備員に対して、現場条件に関する教育等を行うこと。
2. 受注者は工事現場の交通状況を十分に把握し、交通誘導警備員の休憩、休息時間において交通誘導警備員が必要な場合は、監督員と協議を行って交替要員を配置するものとし、必要と認められる場合は契約変更できるものとする。
3. 交通誘導警備員の積上げ人数は、交通誘導の対象となる施工量に対し、作業日当り標準作業量から必要な人数を見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き、施工実績等による交通誘導警備員の積上げ人数の増員に対する変更は行わない。また、工事実績の交通誘導警備員が減となった場合は、実績数量により変更を行なう。ただし、交通誘導警備員の対象となる施工量に増減等が生じた場合はこの限りでない。
4. 交通誘導警備員Ａとは、警備業者の警備員（警備業法第2条第4項に規定する警備員をいう。）で、交通誘導警備業務（警備員等の検定等に関する規則第1条第4項に規定する交通誘導警備業務をいう。）に従事する交通誘導警備業務に係る一級検定合格警備員又は二級検定合格警備員をいう。
5. 交通誘導警備員Ｂとは、警備業者の警備員で、交通誘導警備員Ａ以外の交通の誘導に従事するものをいう。
6. 「警備員等の検定等に関する規則」により、広島県公安委員会から認定告示（2020年10月1日広島県公安委員会告示第73号）のあった路線に係る交通誘導を実施する場合については、交通誘導警備員Ａを誘導日あたり１名以上配置すること。

第７節　更生工法

1. 施工
   ①管口を傷めないようにガイドローラなどを使用するなど、必要な保護措置を講じ、下水道施設に損傷を与えないよう十分留意すること。
   ②仮締切を必要とする場合は、監督員の承諾を得ること。この仮締切は、上流にいっ水が起こらない構造で、かつ、作業中の安全が確保されるものとすること。ただし、上流にいっ水が生じる恐れがある時は、ただちにこれを撤去すること。
   ③受注者が監督員の指示に反して、作業を続行した場合及び監督員が事故防止上危険と判断した場合は、作業の一時中止を命ずることがある。
   ④作業にあたり、道路その他の工作物を、搬出土砂等で汚損させないこと。万一、汚損させたときは、作業終了の都度、洗浄、清掃すること。
   ⑤作業終了後は、速やかに使用機器、仮設物等を搬出し、作業場所の清掃に努めること。
2. 管理
   ①施工管理に関わる事項については、「ガイドライン」に準拠し行うこと。
   ②品質管理に関わる事項については、「ガイドライン」に基づき施工前・施工時・しゅん工時について十分管理し、提出書類を作成して監督員に報告すること。
   ③品質管理に必要なサンプル採取・試験の実施等の費用は原則積上げ計上は行わない。
   しゅん工時において耐薬品性の試験頻度は工法毎、充てん材の圧縮強度試験は注入日毎とし、製管タイプのうち、日本下水道協会のⅡ類資器材として登録されているものについては、認定工場制度の工場検査証明書類を別途提出することにより、当局の承諾を得たうえで耐薬品性試験の実施は免除できるものとする。
   ④内面に目視確認できるシワ（不十分な前処理も含めて施工不備により更生管内面に生じる断面方向あるいは縦断方向の凸）の発生することのないよう適切な施工を行うこと。
   ⑤出来形管理に関わる事項については、「ガイドライン」に準拠し行うこと。また、既設管と同等以上の水理性能を確保すること。
3. 下水汚泥の処理について
   ①計量伝票（原本）マニフェスト等を提出すること。
   ②搬出先においては、許可看板と処分状況が確認できるよう写真撮影を行い提出すること。
4. その他
   本仕様書は、現場条件に適合する最も経済的な工法を見込んでおり、実施工法による設計変更はしない。

第８節　現場管理

1. 施工方法、建設機械の騒音及び振動の大きさ、発生実態、発生機構等について十分理解し、工事現場及び現場周辺の状況に留意して施工すること。
2. 施工に伴い通常避けることができない損害等の発生が予見されるときは、速やかに監督員に協議すること。
3. 小黒板情報電子化対応ソフトウェアを使用する場合は、「土木工事共通仕様書（広島版）」に従い、工事契約後に監督員の承諾を得たうえで、使用する機器・ソフトウェア等について工事着手までに提出すること。また、工事完成時に小黒板情報の電子的記入を行った写真の信憑性確認を行い、その結果を監督員に提出すること。

第９節　地下埋設物

1. 工事着手前には、地下埋設物及び地下構造物の調査を行うとともに、当該管理者に立会を求めてその位置を確認し、管理者の指示を遵守して埋設物及び構造物に損害を与えないよう注意して施工すること。
2. 必要に応じて試掘を実施し、その位置を確認すること。また、当該管理者との協議及び試掘の結果を発注者に提出すること。

第１０節　環境対策

1. 施工に伴う騒音、振動、大気汚染、水質汚濁等について、関係法令及び仕様書の規定を遵守の上、周辺地域の環境保全に努めるものとする。また、施工計画及び工事実施の各段階において十分検討して必要な措置を講じること。
2. 受注者は、大気汚染防止法に基づき本工事が特定工事に該当するかについて、事前調査（設計図書その他の書面による調査、特定建築材料の有無の目視による調査等）を行いその結果を監督員に説明し、事前調査結果（受注者の名称、調査終了年月日、調査方法、調査結果等）を現場の公衆に見やすい場所に掲示すること。なお、掲示物の大きさは長さ42.0cm以上、幅29.7cm以上（A3用紙以上、縦長横長問わず）とする。また、監督員への説明書面の写し、及び事前調査の記録は、工事完了後３年間保存すること。
3. 資機材等の運搬にあたっては、運搬経路及び作業時間帯に留意すること。
4. 施工方法、建設機械の騒音及び振動の大きさ、発生実態、発生機構等について十分理解して、工事現場及び現場周辺の状況に留意すること。
5. 広島県土木工事共通仕様書（令和8年8月）『1-1-1-35 環境対策』で使用を義務付けている排出ガス対策型建設機械においては、第3次基準値以上の建設機械の使用に努めること。なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

第１１節　工事用地

1. 本工事に必要な現場事務所及び資材置場等の用地は、全て受注者の責任と負担において確保すること。

第１２節　情報共有システムの利用

1. 情報共有システムとは、業務の効率化を図り、受発注者間の情報を電子的に交換・共有するものであり、本工事が対象であるかは施工条件表を参照すること。
2. 本工事で使用する情報共有システムは次とする。
   広島県工事中情報共有システム　https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html
3. 受注者は、情報共有システムの利用対象としないことを希望する場合は、契約後すみやかに発注者にその旨を協議し、承諾を得ること。
4. 受注者は、情報共有システムの利用に当たり、(一社）広島県土木協会に利用申込みを行い、利用料を支払うものとする。
5. 受注者は、情報共有システムの利用に当たり、「情報共有システム利用手引(土木工事)」に基づき運用すること。

第３章　建設副産物

第１節　建設発生土

1. 本工事により発生する建設発生土は、建設発生土処分先一覧表（広島県）に掲載されている建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地(一時たい積を含む。)のいずれかに搬出するものとする。
   また、搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地(一時たい積を含む。)を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。
   なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表（広島県）に掲載されている建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地(一時たい積を含む。)への搬出が困難となった場合は協議するものとする。
2. 搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、計量伝票等を監督員に提出すること。

第２節　建設汚泥

1. 建設汚泥は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し、適正に処理しなければならない。
2. 建設汚泥は、広島県及び廃棄物処理法政令市が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設へ搬出し再資源化しなければならない。
3. 搬出先においては、許可看板と処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、伝票等を提出すること。また、必要に応じて現地確認、立入り調査等を行なうこと。
4. 再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、広島県及び廃棄物処理法政令市が廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。

第３節　特定建設資材廃棄物（アスファルト塊、コンクリート塊等）

1. 特定建設資材廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し、適正に処理しなければならない。
2. 特定建設資材廃棄物は、広島県及び廃棄物処理法政令市が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設へ搬出し再資源化しなければならない。
3. 搬出先においては、許可看板と処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、伝票等を提出すること。また、必要に応じて現地確認、立入り調査等を行うこと。
4. 再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、広島県及び廃棄物処理法政令市が廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。

第４節　「広島県土砂の適正処理に関する条例」に係る届出及び許可

1. 土砂の搬出
   建設発生土について、500m3以上（一時たい積場については500m3/月以上）の土砂を事業区域外へ搬出するときは、「広島県土砂の適正処理に関する条例」（平成16年広島県条例第1号、以下「広島県土砂条例」という。）第2章第5条に基づき、土砂の搬出に係る計画を定め、当該土砂の搬出を開始する日から起算して20日前（一時たい積場については、当該計画に係る月の初日の10日前）までに、福山市長へ届け出なければならない。
2. 埋立行為（埋立て、盛土、たい積）
   建設発生土について、事業区域外において土砂埋立区域の面積が2,000m2以上となる土砂の埋立行為を行う場合は、土砂埋立区域ごとに福山市長の許可を受けなければならない。

第５節　産業廃棄物の場外保管

1. 本工事により発生する産業廃棄物を事業場の外（建設工事現場以外の場所）において300m2以上の面積で保管する場合には、保管場所を所管する都道府県知事に事前の届出を行うこと。また、届出事項を変更する場合は事前に変更届を、保管をやめたときは30日以内に廃止届を提出すること。
   ただし、産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

第６節　再生資源利用計画

1. 受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。あわせて、500m3以上の土砂を工事現場から搬出する場合には、「再生資源利用促進計画の作成に伴う確認結果票」について作成と現場掲示すること。

第４章　熱中症対策

本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。

1. 工期（工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日及び後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13日間、年末年始6日間（12月29日～1月3日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日の次の日から土曜日、日曜日及び振替休日を除く3日間とする。）、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。
2. 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。ただし、夜間工事の場合は、作業時間帯の最高気温又は最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。
3. 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温又は環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。
   なお、本工事において、上記地上観測所及び観測地点は、「福山」とすることを標準とする。
4. 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督員に提出すること。
5. 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督員と協議するものとする。
6. 積算方法は次のとおりとする。
   （１）補正方法
   ア　受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。ただし、現場管理費率の補正は、「積算寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本通知の補正値を合計し、2%を上限とする。
   イ　真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期

ウ　補正値（%）＝真夏日率×1.2

（２）補正値の計算結果は、パーセント表示で小数点3位を四捨五入して2位止めとする。

7. 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることが出来る。
8. 検査員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

第５章 その他

1. 作業箇所において、下水道施設に破損、不等沈下、腐食等の異常を発見した場合は、速やかに監督員に報告すること。
2. 設計図書に特定に明示されていない事項であっても、作業遂行上、当然必要なものは、受注者の負担において処理すること。
3. その他特に定めのない事項については、速やかに監督員に報告し、指示を受けて処理すること。
4. 更生管仕様については、下記の条件ならびに「ガイドライン」に基づき、更生管構造計算及び耐震計算レベル１及びレベル２を行い決定することとする。また、その結果がわかる資料を作成し監督員に提出すること。
なお、土質条件については、契約後に発注者から受注者に対し、資料を提供する。

自立管
①既設管渠の評価
耐荷能力を見込まない。
②荷重
鉛直土圧と活荷重による鉛直荷重の総和とする。
③更生管厚の算定式
「下水道用硬質塩化ビニル管（JSWAS　K-1）」及び「下水道用強化プラスチック複合管（JSWAS　K-2）」とする。

複合管
①既設管の評価
コンクリート　測定結果による
※シュミットハンマー等で強度測定（３箇所／スパン）を行うこと
鉄筋１００％
※鉄筋露出が見られる場合は監督員と協議
②荷重
鉛直土圧と活荷重による鉛直荷重の総和とする。ただし、水平土圧や活荷重による水平土圧を考慮できる現場条件の場合には水平荷重を見込むことができる。
③更生管の構造計算
更生管の構造計算は終局耐力を評価できる限界状態設計法によることとする。ただし、JSWAS　A-1の外圧試験に基づき申告値以上又は新管同等以上の耐荷能力が確認できる場合はこの限りではない。

既設管渠の概要

路線番号	既設管 管種・管径	路線延長(m)	管渠延長(m)	後輪荷重
K161143065	鉄筋コンクリート管 φ800mm	42.69	41.64	T-14
K162143128	鉄筋コンクリート管 φ800mm	74.74	73.54	T-14

5. 本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項、または、疑義が生じた場合は、その都度、速やかに監督員と協議を行うこと。

施　工　条　件　表

対象工事名　：　下水道施設長寿命化工事（８－６）

項目	事　項	該　当		内　容
① 計画準備関係	施工計画書等の提出	◉ あり	○ なし	現場着手に先立ち、「広島県土木工事共通仕様書」及びR8.7(社)「管きょ更生工法における設計・施工管理ガイドライン－２０２６年版－」及び各更生工法協会で定められている基準に基づき施工計画書を作成し、監督員の確認を得ること。
		◉ あり	○ なし	現場着手に先立ち、「広島県土木工事共通仕様書」及びR8.7(社)「管きょ更生工法における設計・施工管理ガイドライン－２０２６年版－」及び各更生工法協会で定められている基準に基づき主要資材承認書を作成し、監督員の確認を得ること。
	変更図面の作成	◉ あり	○ なし	設計図書に基づき現地の測量等を行い、試験掘りの結果及び地下埋設物等の状況について照査し、管路の法線及び高さ等に変更が生じた場合は、変更図面を作成し、提出すること。
	誓約書の提出	○ あり	◉ なし	試験掘りに先立ち、水道管、ガス管、その他の地下埋設物に対し、施工による不測の事態に対処するため、各管理者に誓約書を提出すること。また、その誓約書の写しを提出すること。 なお、福山市上下水道局に提出する誓約書には、福山市上下水道局指定の配水本管工事施工資格業者を誓約業者として指定すること。
	協議	◉ あり	○ なし	次のとおり、関係機関及び地域住民等との協議を行うこと。

関係機関	事項	協議の内容	備考
関係機関	関係法令	関係法令に対する、届出、許可など	
沿線商店	車両出入口	施工時間及び作業時間外の交通規制形態	
その他	施工方法等	地元関係者（土木常設員、町内会役員、水利役員）、その他関係者への説明	

	段階確認	◉ あり	○ なし	施工の重要な段階において、監督員の段階確認を受け、適切に実施すること。 なお、段階確認の工種及び時期、箇所等については、監督員と事前に協議すること。
	情報共有システム	◉ あり	○ なし	設計金額３，５００万円以上の工事は、原則として情報共有システムを利用する。

項目	事　　項	該　当		内　　容
② 工程関係	工事期間	◉ あ り	○ な し	工事期間は、次のとおりの期間の合計としている。また、本工事着手までの準備期間とし４０日間を、検査期間は１４日間を見込んでいる。 なお、この工事期間には、雨天、休日等（作業期間内の全土曜日及び日曜日、並びに休暇等）を含んでいる。 ☑ 準備期間　☑ 本工事施工期間　☐ ~~建物等調査期間~~　☑ 変更協議期間　☐ ☑ 後片付け期間　☑ 検査期間　☐ ~~水道管移設期間~~　☐ ~~ガス管移設期間~~　☐
	関連する別途工事	○ あ り	◉ な し	本工事に関連して、次の工事が施工、施工予定とされているため、相互に連絡・調整等を密にし施工すること。 関連工事の名称 ／ 発注者名 ／ 予定期間 ／ 備考
	制約条件	◉ あ り	○ な し	施工時期、施工時間及び施工方法に制約条件があるため、次のとおり、適切な処置を行うこと。 場所：全体 ／ 制約の要因：円滑な交通の確保 ／ 制約の内容：施工時間帯は昼間とし、道路使用許可条件を遵守するものとする。 ／ 備考
③ 用地関係	借地	○ あ り	◉ な し	次のとおり、借地を見込んでいる。 場所 ／ 目的 ／ 面積 ／ 使用後の処置 ／ 備考
	工事用地	○ あ り	◉ な し	工事区間において、次のとおり、一部未処理用地がある。 場所 ／ 面積 ／ 協議内容 ／ 完了見込時期 ／ 備考
④ 周辺環境保全関係	建設公害の処置	◉ あ り	○ な し	騒音・振動・粉塵・その他の防止のため、次のとおり、適切な処置を行うこと。 項目：建設機械（全般） ／ 処理方法：排ガス対策型の使用 ／ 備考
	濁水・湧水の処理	○ あ り	◉ な し	施工に伴い発生する濁水・湧水は、水槽等の沈砂池により適切に処理し、排水すること。
⑤ 安全対策関係	近接施工	○ あ り	◉ な し	重要施設に近接した施工となるため、次のとおり、適切に管理を行うこと。また、そのチェックリストを提出すること。 場所 ／ 近接する施設 ／ 条件 ／ 備考
		○ あ り	◉ な し	

項目	事　　項	該　当		内　　容
⑥ 建設副産物関係	建設発生土	○ あ り	◉ な し	当該工事により発生する建設発生土は、広島県が公表する建設発生土処分先一覧表に記載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）に搬出するものとする。
	建設汚泥（泥土）	○ あ り	◉ な し	建設汚泥（泥土）は、次の運搬先を見込んでいる。 種別 ／ 搬出場所 ／ 運搬距離 ／ 備考
	建設汚泥（泥水）	○ あ り	◉ な し	建設汚泥（泥水）は、次の運搬先を見込んでいる。 種別 ／ 搬出場所 ／ 運搬距離 ／ 備考
	特定建設資材の廃棄物	○ あ り	◉ な し	特定建設資材の廃棄物は、次の運搬先を見込んでいる。 種別 ／ 搬出場所 ／ 運搬距離 ／ 備考
	建設副産物情報交換システム	○ あ り	◉ な し	建設副産物情報交換システムの登録対象工事である。
	広島県土砂の適正処理に関する条例	○ あ り	◉ な し	「広島県の土砂の適正処理に関する条例」に係る届出及び許可の対象となる工事である。
⑥ 仮設関係	水替	○ あ り	◉ な し	
	仮設電力設備	◉ あ り	○ な し	次のとおり、仮設電力設備を見込んでいる。 場所 ／ 設備の種類 ／ 備考 管渠更生工 ／ ☑ 発動発電機 ／ ☐ 低圧受電 ／ ☐ 高圧受電 ☐ ~~発動発電機~~ ／ ☐ ~~低圧受電~~ ／ ☐ ~~高圧受電~~ ☐ ~~発動発電機~~ ／ ☐ ~~低圧受電~~ ／ ☐ ~~高圧受電~~
	一般搬入道路	◉ あ り	○ な し	一般道路を搬入路として使用するにあたり、次のとおり、適切に処置すること。 搬入道路 ／ 期間 ／ 時間 ／ 工事中・後の処置 ／ 備考 全ての道路 ／ 工事期間 ／ 8時 ～ 17時 ／ 随時路面等の清掃、工事後舗装等の欠損部補修 ／ 処置は使用に伴い影響があった場合
	仮設道路	○ あ り	◉ な し	仮設道路を設置・使用するにあたり、次のとおり、適切に処置すること。 期間 ／ 安全施設 ／ 使用中の処置 ／ 使用後の処置 ／ 備考

項目	事　　項	該　当		内　　容
⑦ 工事支障物件関係	試験掘り	○ あ り	◉ な し	施工に先立ち、地下埋設物等の位置を確認するため、次のとおり、試験掘りを行うこと。 場所 / 確認物件 / 方法 / 備考
	本工事に含まれる移設工事	○ あ り	◉ な し	本工事では、次の移設工事を含んでいる。 場所 / 移設物件 / 移設の形態 / 設計見込金額（税抜）
	工事支障物件	○ あ り	◉ な し	次の物件について、工事の支障となる可能性があることを見込んでいる。 なお、試験掘り等の結果により、別途、協議を行うこと。 場所 / 支障物件 / 内容 / 備考
		○ あ り	◉ な し	
⑧ その他	工事完成のお知らせ	◉ あ り	○ な し	完成検査が終了した後、工事沿線の関係者に対して「下水道工事完成のお知らせ」（別途、参考様式有り）を配布すること。
		○ あ り	◉ な し	
		○ あ り	◉ な し	

総括情報表

変更回数	0
適用単価地区	70 福山市
単価適用日	00-08.08.01(0)
諸経費体系	1 公共(一般)

	当世代	前世代
工種	42 下水道工事（４）	
施工地域・工事場所区分	04 一般交通影響有り(2)	
復興補正区分	00 補正なし	
週休補正区分	00 補正なし	
現場事務所等の貸与区分	00 補正なし	
ＩＣＴ補正区分	00 補正なし	
冬期補正係数	00 補正なし	
緊急工事区分	00 通常工事 ０％	
前払金支出割合区分	00 補正無し	
契約保証区分	01 金銭的保証(0.04%)	

建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として，労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。

≪凡例≫

Co ･･･コンクリート　As ･･･アスファルト
DT ･･･ダンプトラック　BH ･･･バックホウ
CC ･･･クローラクレーン　TC ･･･トラッククレーン
RTC･･･ラフテレーンクレーン

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
管路施設(管きょ更生工法)	1	式			Y1I05　　レベル1
管きょ更生工	1	式			Y1I0501　　レベル2
管きょ内面被覆工(製管工法)	1	式			Y1I050101　レベル3
更生材料		式			Y1I05010101レベル4
帯板状更生材 既設管径800mm 直線	350	m			F000004300　00
接合用嵌合部材 既設管径800mm	350	m			F000004400　00
製管		m			Y1I05010102レベル4
スペーサー取付工 既設管径　800mm	42	m			V0000000001 00 単第0 -0001　表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
端部製管工(人力)	2	m			V0000000002 00 単第0 -0002　表
製管工 φ800㎜	40	m			V0000000003 00 単第0 -0005　表
端部緊張工	2	箇所			V0000000005 00 単第0 -0006　表
充てん注入工	42	m			V0000000008 00 単第0 -0007　表
充てん材ストッパー工	2	箇所			V0000000012 00 単第0 -0012　表
仕上		式			Y1I05010104レベル4
管口仕上工 φ800㎜	2	箇所			V0000000015 00 単第0 -0014　表
管口仕上工（取付管） φ200㎜未満	8	箇所			V0000000050 00 単第0 -0016　表
管きょ内面被覆工（製管工法）	1	式			Y1I050102　レベル3

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
更生材料		式			Y1I05010201レベル4
更生管材 硬質塩化ビニル樹脂 既設管径 800㎜	2,185	m			F000000100　00
製管		式			Y1I05010202レベル4
製管工(自走式) 既設管径 800㎜	74	m			V0000000021 00 単第0 -0017　表
更生管材溶接工	3	箇所			V0000000023 00 単第0 -0019　表
裏込め		m3			Y1I05010103レベル4
注入口取付工	1	スパン			V0000000024 00 単第0 -0020　表
支保工兼浮上防止工 製管径 730㎜以上	74	m			V0000000025 00 単第0 -0022　表
支保材損料 製管径 730㎜	1	式			V0000000048 00 単第0 -0023　表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
注入工	5	m3			V0000000026 00 単第0 -0025　表
注入用内部配管材損料（円形管） 既設管径 800㎜	74	m			F000000300　00
仕上		式			Y1I05010203レベル4
本管口仕上工 既設管径 800㎜	2	箇所			V0000000027 00 単第0 -0028　表
取付管口穿孔仕上工 製管径 730㎜以上	9	箇所			V0000000028 00 単第0 -0030　表
仮設備		式			Y1I05010105レベル4
製管設備設置撤去工	2	回			V0000000029 00 単第0 -0031　表
巻出しリング作成工 自走式	1	回			V0000000030 00 単第0 -0033　表
製管機搬入組立工	1	回			V0000000031 00 単第0 -0034　表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
製管機分解搬出工	1	回			V0000000032 00 単第0 -0035　表
機械器具損料		式			Y1I05010106レベル4
機械器具損料	1	式			V0000000033 00 単第0 -0036　表
換気工	1	式			Y1I050103　レベル3
換気設備		式			Y1I05010301レベル4
換気設備工	12	日			SG1D2200001 00 単第0 -0037　表
換気設備工	5.5	日			V0000000017 00 単第0 -0039　表
管口耐震化工	1	式			Y1I0501　　レベル2
管口耐震化工	1	式			Y1I050101　レベル3

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
管口耐震化		箇所			Y1I05010101レベル4
管口耐震化工 既設管径 800㎜	4	箇所			V0000000036 00 単第0 -0041　表
事前調査工 既設管径 800㎜	4	箇所			V0000000039 00 単第0 -0044　表
仮設工	1	式			Y1I0501　　レベル2
交通管理工	1	式			Y1I050101　レベル3
交通誘導警備員		式			Y1I05010101レベル4
交通誘導警備員B 4名配置	90	人			R0369　　00
＊＊直接工事費＊＊ #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
準備費					Z0005

本工事費　内訳表

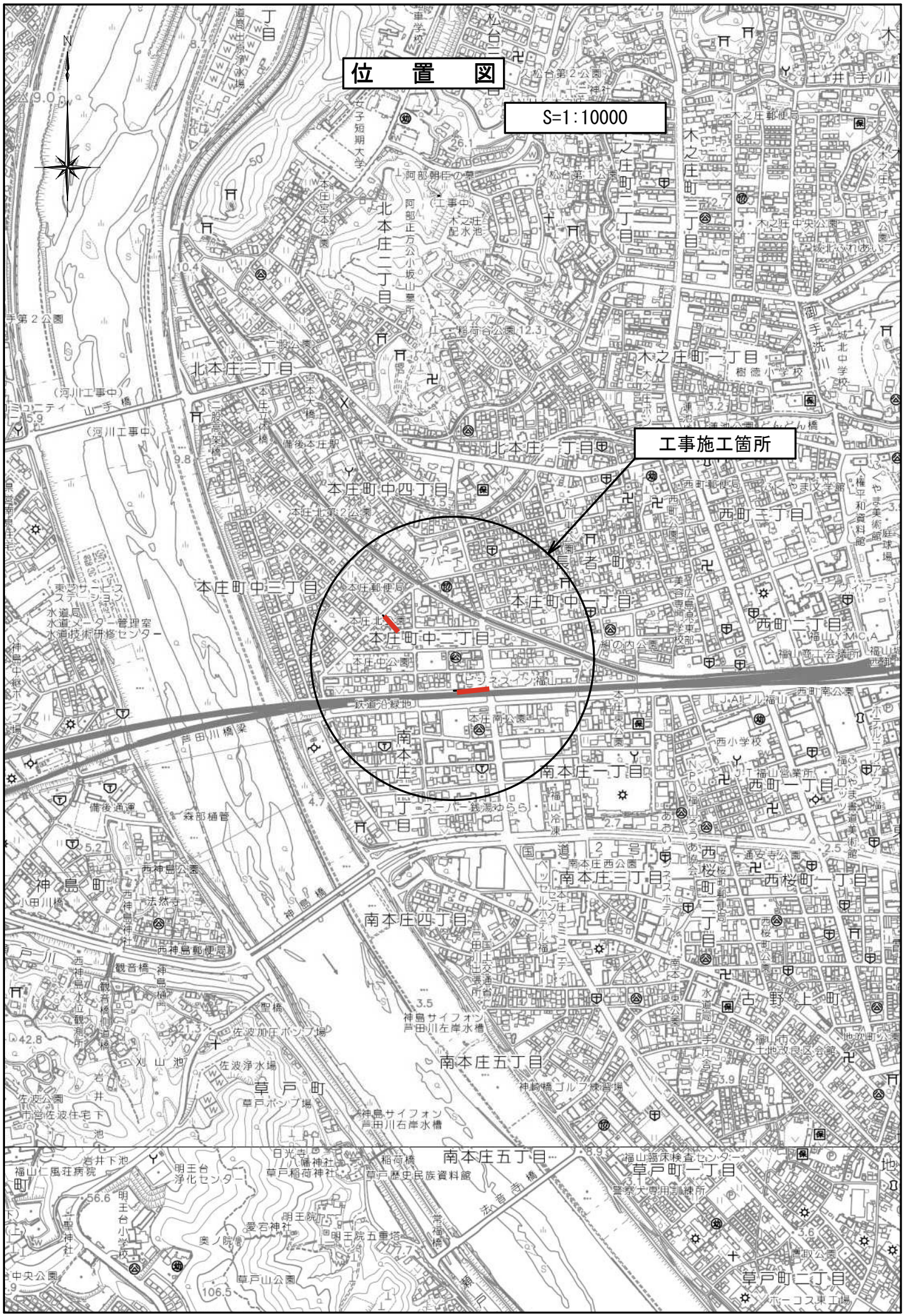
費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
準備費	1	式			YZZ05　　レベル2
準備費	1	式			YZZ05001　　レベル3
管内調査		m			YZZ05001001レベル4
既設管内調査工	116	m			V0000000019 00 単第0 -0047　表
管内洗浄工		m			YZZ05001001レベル4
管きょ内洗浄工	74	m			VSEI001　　00 単第0 -0049　表
既設管洗浄工	42	m			V0000000006 00 単第0 -0052　表
施工前処理工（管渠）	1	式			YZZ05001　　レベル3
施工前処理		箇所			YZZ05001001レベル4

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
取付管突出処理工 150㎜～800㎜未満	1	箇所			VSY0001　00 単第0 -0053　表
モルタル等除去工 木根除去 150㎜～800㎜未満	1	箇所			VSY0003　00 単第0 -0057　表
換気設備		式			YZZ05001001レベル4
換気設備工	1	日			SG1D2200001 00 単第0 -0037　表
共通仮設費率分					Z0019
計算情報…… 対象額…… 率……					
＊＊共通仮設費計＊＊					
＊＊純工事費＊＊					
現場管理費 計算情報…… 対象額…… 率……					

本工事費　内訳表

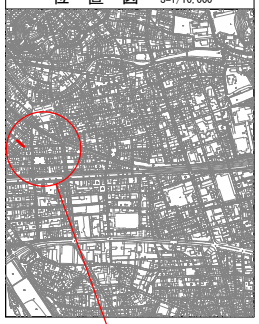
費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
＊＊工事原価＊＊					
一般管理費率分 計算情報…… 対象額…… 率……					前払補正率…
契約保証費 計算情報…… 対象額…… 率……					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
＊＊工事価格＊＊					
＊＊消費税相当額＊＊ 計算情報…… 対象額…… 率……					
＊＊工事費計＊＊					
＊＊契約保証費計＊＊					


位　置　図
S=1:10000
工事施工箇所
北本庄二丁目
北本庄三丁目
北本庄一丁目
本庄町中四丁目
本庄町中三丁目
本庄町中二丁目
本庄町中一丁目
西町三丁目
西町二丁目
西町一丁目
南本庄一丁目
南本庄三丁目
南本庄四丁目
南本庄五丁目
西桜町一丁目
西桜町二丁目
古野上町
草戸町
草戸町一丁目
草戸町二丁目
神島町
木之庄町一丁目
木之庄町二丁目
木之庄町三丁目
鉄道沿緑地
芦田川橋梁
神島橋
国道2号
ビッスイン福山
スーパー銭湯ゆらら
福山冷凍
福山営業所
福山商工会議所
福山市土地改良区会館
福山臨床検査センター
警察大学校専用訓練所
草戸歴史民族資料館
草戸稲荷神社
明王院
明王院五重塔
明王台浄化センター
草戸山公園
神島サイフォン
芦田川左岸水槽
芦田川右岸水槽
佐波浄水場
佐波加圧ポンプ場
草戸ポンプ場
神崎橋ゴルフ練習場
西神島公園
西神島郵便局
法然寺
備後通運
森部樋管
水道局水道メーター管理室
水道技術研修センター
本庄郵便局
本庄北第2公園
本庄中公園
本庄南公園
本庄東公園
西町南公園
西小学校
樹徳小学校
城北中学校
城北ふれあいプール
木之庄中央公園
木之庄郵便局
西町郵便局
西町公園
通安寺公園
西桜町公園
西桜町郵便局
南本庄西公園
本庄コミュニティセンター
ルンタールホテル福山
福山ろうあ協会
福山YMCA
福山市立美術館
福山城
御手洗川
土井手川
阿部朝臣の墓
阿部正方公小坂山墓所
稲荷谷公園
本庄宮本公園
本庄立体橋
備後本庄駅
河川工事中
山手橋
山手第2公園
女子短期大学
道島出張浄水場
松台第2公園
松台第1公園
松台第2公園
木之庄配水池
工事中
樹の内公園
美容広島専門学校
福山ふくやま文学館
福山ふくやま美術館
福山人権平和資料館
福山庭球場
福山ゴルフ場
福山冷凍
福山ろうあ協会
福山ロッツ
福山市立美術館
福山城
御手洗川
草戸ポンプ場
草戸山公園
中央公園
明王台小学校
明王台浄化センター
岩井下池
刈山池
佐波公園
佐波住宅下池
法音寺橋
常福橋
聖橋
観音橋
観音橋側道橋
西神島水位観測所
戸川
ホーコス東工場
草戸町二丁目
草戸町一丁目
南本庄五丁目
南本庄四丁目
南本庄三丁目
南本庄一丁目
本庄町中一丁目
本庄町中二丁目
本庄町中三丁目
本庄町中四丁目
北本庄一丁目
北本庄二丁目
北本庄三丁目
西町三丁目
西町二丁目
西町一丁目
西桜町一丁目
西桜町二丁目
古野上町
神島町
草戸町
木之庄町一丁目
木之庄町二丁目
木之庄町三丁目
N

福山市上下水道局			
2026年度　都市計画　下水道事業			
工事名称	下水道施設長寿命化工事(8-6)		
工事場所	福山市本庄町中二丁目地内		
図面番号	1/2	縮尺	図　示
管渠埋設平面図 管渠埋設縦断面図・標準断面図			

位　置　図

S=1/10,000

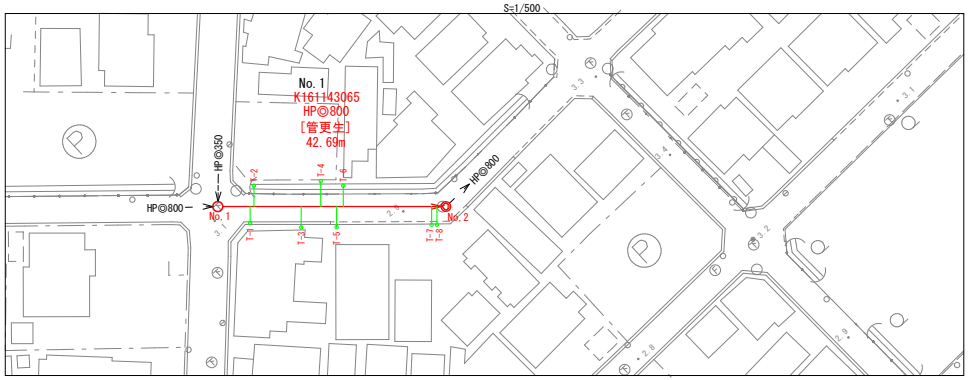


工事施工箇所

※この図面は縮小しています
(原図サイズ：A1)

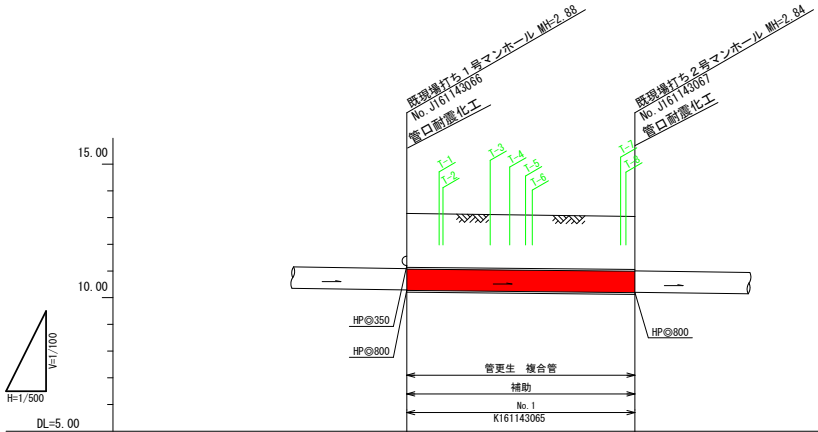
平　面　図

S=1/500



縦　断　面　図

縦 S=1/100
横 S=1/500



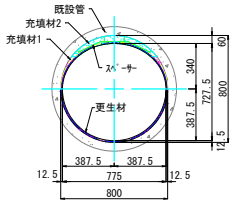
管径	HP◎800	
勾配	1.9	
区間距離	42.69	
管渠延長	41.64	
地盤高	13.15	13.04
土被り	2.01	1.98
管底高		
掘削深		
追加距離	0.00	42.69

マンホール凡例			
○	1号マンホール	⊘	組立0号マンホール
◎	2号マンホール	⦶	組立1号マンホール
◎	3号マンホール	⦶	組立2号マンホール
◉	4号マンホール	◎	組立3号マンホール
◨	5号マンホール	◎	組立4号マンホール
⧅	6号マンホール	◎	組立2号マンホール
●	7号マンホール	◎	組立3号マンホール
◎	8号マンホール	◉	組立4号マンホール
□	9号マンホール	◉	組立楕円マンホール
⧄	10号マンホール	⊗	塩ビ製マンホール
⧅	11号マンホール	◯	不明
⊕	12号マンホール		
△	特殊マンホール		

管渠更生断面図

S=1/20

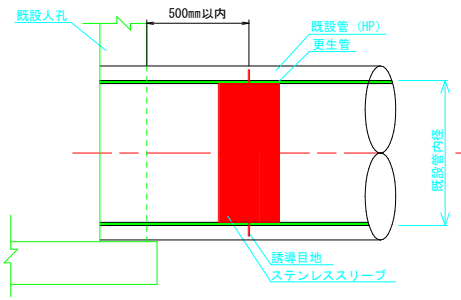
既設管渠
(φ800)
更生断面（参考図）



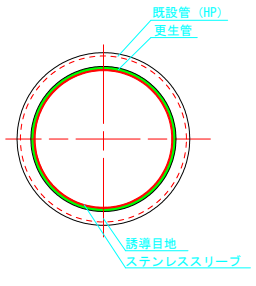
耐震化工法標準図（参考）

S=Free

側面図



断面図



※　実施にあたっては事前調査を行い壁厚、管継手位置等の結果をもとに誘導目地の位置を決定すること。
※　コンクリート基礎以外のところに設置すること。

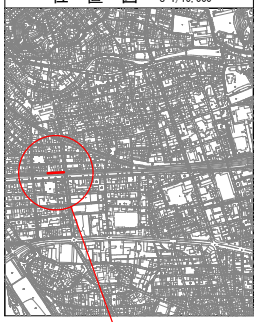
※取付管に、管径が表記されていないものはφ150とする。

位　置	取付部削孔工	取付管突出し	モルタル等除去	木の根侵入	取付管閉塞
既No.1　～　既No.2	8	——	——	——	——

設計年月　2026年8月　(株)ニューシェック

福山市上下水道局			
2026年度　都市計画　下水道事業			
工事名称	下水道施設長寿命化工事(8-6)		
工事場所	福山市本庄町中二丁目地内		
図面番号	2/2	縮尺	図　示
管渠埋設平面図 管渠埋設縦断面図・標準断面図			

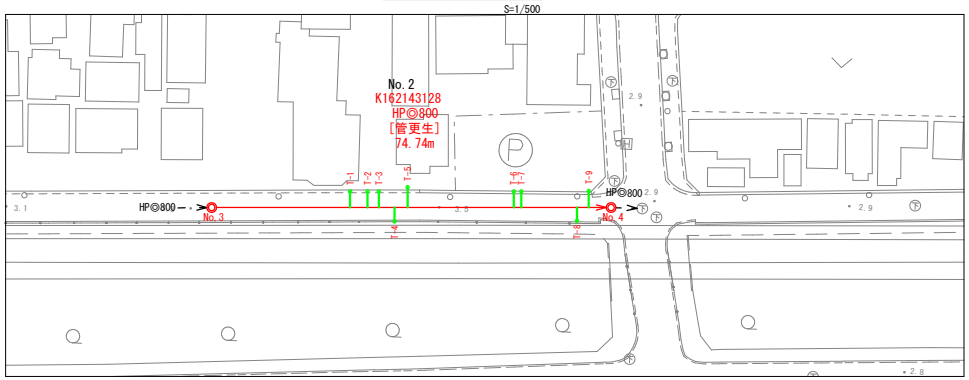
位　置　図　S=1/10,000



※この図面は縮小しています
(原図サイズ：A1)

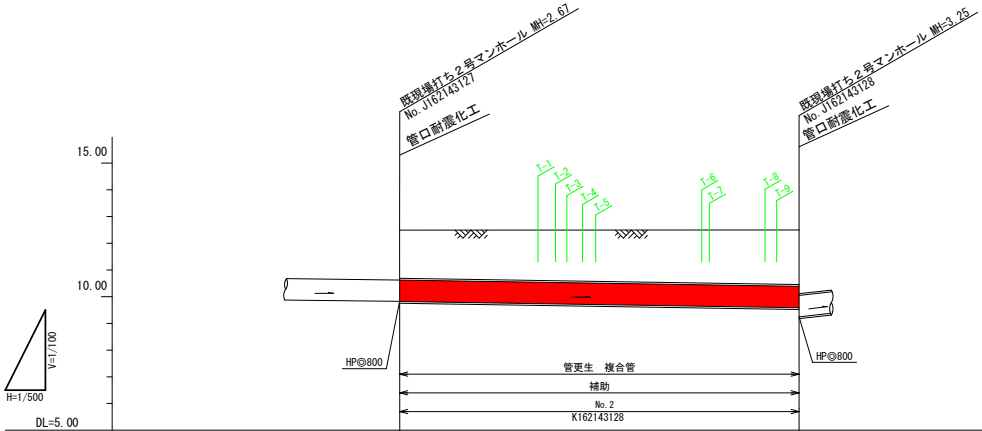
平　面　図

S=1/500



縦　断　面　図

縦 S=1/100
横 S=1/500

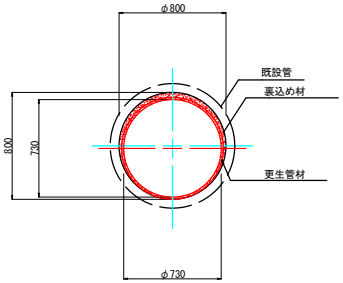


管径	HP◎800	
勾配	3.1	
区間距離	74.74	
管渠延長	73.54	
地盤高	12.49	12.49
土被り	1.81	2.04
管底高		
掘削深		
追加距離	0.00	74.74

管渠更生断面図

S=1/20

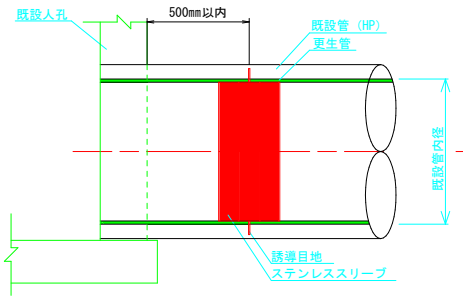
既設管渠
(φ800)
更生断面（参考図）



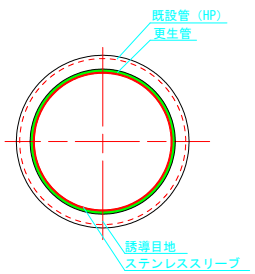
耐震化工法標準図（参考）

S=Free

側面図



断面図



※　実施にあたっては事前調査を行い壁厚、管継手位置等の結果をもとに誘導目地の位置を決定すること。
※　コンクリート基礎以外のところに設置すること。

マンホール凡例			
○	1号マンホール	⊘	組立0号マンホール
◎	2号マンホール	⦶	組立1号マンホール
◎	3号マンホール	⦶	組立2号マンホール
◉	4号マンホール	⦶	組立3号マンホール
◨	5号マンホール	⦶	組立4号マンホール
⧅	6号マンホール	⦶	組立2号マンホール
●	7号マンホール	⦶	組立3号マンホール
◎	8号マンホール	⦶	組立4号マンホール
□	9号マンホール	⦶	組立楕円マンホール
⧄	10号マンホール	⊗	塩ビ製マンホール
⊠	11号マンホール	◯	不明
⊕	12号マンホール		
△	特殊マンホール		

※取付管に、管径が表記されていないものはφ150とする。

位　置	取付部削孔工	取付管突出し	モルタル等除去	木の根侵入	取付管閉塞
既No.3　～　既No.4	9	1	---	1	---

設計年月　2026年8月　(株)ニューシェック

参　考　図　書

施工単価表

スペーサー取付工　　V0000000001　　単第0 -0001　表

既設管径　800㎜　　1　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
頂部スペーサー 既設管径800㎜	42	m			
土木一般世話役	1	人			
トンネル特殊工	1	人			
トンネル作業員	2	人			
普通作業員	2	人			
諸雑費	10	%			#01
１m当り（計／１日あたり作業量）					
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			

施工単価表

端部製管工(人力)　V0000000002　単第0 -0002　表

1　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1	人			
トンネル特殊工	1	人			
トンネル作業員	2	人			
普通作業員	2	人			
ストリップフィーダー損料	1	日			
発電機運転工	1	日			単第0-0003　表
クレーン付トラック運転工 4ｔ	1	日			単第0-0004　表
１m当り		m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			

施工単価表

発電機運転工　　V0000000004　　単第0 -0003　表

1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
軽油 スタンド渡し,スタンド給油	49.0	L			
<賃>発動発電機(ディーゼル発電機) 定格容量60kVA 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	1.2	日			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			

施工単価表

クレーン付トラック運転工　　V000003700　　単第0 -0004　表

4ｔ　　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
軽油 スタンド渡し,スタンド給油	31	L			
運転手(特殊)	1	人			
クレーン付トラック損料 4t 2.9吊り	1	日			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			

施工単価表

製管工　　V0000000003　　単第0 -0005　表

φ800mm　　1　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1	人			
トンネル特殊工	1	人			
トンネル作業員	2	人			
普通作業員	2	人			
製管機損料 既設管径 800mm	1	日			
ストリップフィーダー損料	1	日			
空気圧縮機損料	1	日			
発電機運転工	1	日			単第0-0003　表
クレーン付トラック運転工 4ｔ	1	日			単第0-0004　表
1m当り		m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			

施工単価表

端部緊張工　　V0000000005　　単第0 -0006　表

1　箇所　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
トンネル特殊工	0.2	人			
トンネル作業員	0.4	人			
普通作業員	0.2	人			
緊張リング損料	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	箇所			

施工単価表

充てん注入工　　V0000000008　　単第0 -0007　表

1　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
充てん材1	1.51	m3			単第0-0008　表
充てん材2	2.69	m3			単第0-0009　表
土木一般世話役	1	人			
トンネル特殊工	1	人			
トンネル作業員	2	人			
特殊作業員	2	人			
普通作業員	2	人			
裏込注入プラント車損料	1	日			
ホース巻取り機損料	1	日			
ホース引込ウインチ損料	1	日			
注入ホース損料	50	%			#01 先端混合ノズル共
発電機運転工	1	日			単第0-0003　表

施工単価表

充てん注入工　　V0000000008　　単第0 -0007　表

1　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
給水車運転工	1	日			単第0-0010　表
クレーン付トラック運転工 4ｔ	1	日			単第0-0004　表
トラック運転工	1	日			単第0-0011　表
１m当り（計／１日施工延長）		m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			

施工単価表

充てん材1　　V0000000009　　単第0 -0008　表

1　m3　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
セメント(袋) 普通ポルトランド 25kg/袋	0.8	t			
混和材 DB2	160	kg			
硬化剤 DB2	250	kg			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m3			

施工単価表

充てん材2　　V0000000010　　単第0 -0009　表

1　m3　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
セメント(袋) 普通ポルトランド 25kg/袋	1.2	t			
添加剤 DB2	40	kg			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m3			

施工単価表

給水車運転工　　V0000000007　　単第0 -0010　表

1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
軽油 スタンド渡し,スタンド給油	26	L			
運転手(一般)	1	人			
給水車損料 3800L	6	時間			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			

施工単価表

トラック運転工　　V0000000011　　単第0 -0011　表

1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
軽油 スタンド渡し,スタンド給油	11	L			
運転手(一般)	0.5	人			
トラック損料 4～4.5t	1	日			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			

施工単価表

充てん材ストッパー工　　V0000000012　　単第0 -0012　表

1　　箇所　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
普通作業員	0.08	人			
急結モルタル工 配合1：2	0.002	m3			単第0-0013　表
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	箇所			

施工単価表

急結モルタル工　　V0000000013　　単第0 -0013　表

配合1：2　　1　m3　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
急結セメント	620	kg			
コンクリート用砂 荒目(洗い)	0.48	m3			
普通作業員	1.3	人			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m3			

施工単価表

管口仕上工　　V0000000015　　単第0 -0014　表

φ800mm　　1　　箇所　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
管口処理工	0.8	L			単第0-0015　表
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	箇所			

施工単価表

管口処理工　　V0000000016　　単第0 -0015　表

1　L　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
管口仕上材	6.0	L			
特殊作業員	1	人			
1L当り		L			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	L			

施工単価表

管口仕上工（取付管）　V0000000050　単第0 -0016　表

φ200㎜未満　5　箇所　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
エポキシコーキング材	2	L			
特殊作業員	3.0	人			
雑材料	10	%			#09
１箇所当り（計／１日当り作業量）		箇所			
＊＊＊　合計　＊＊＊	5	箇所			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	箇所			

施工単価表

製管工(自走式)　　V0000000021　　単第0 -0017　表

既設管径 800mm　　1　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
トンネル世話役	1	人			
トンネル特殊工	2	人			
トンネル作業員	2	人			
特殊作業員	2	人			
普通作業員	2	人			
機-16_発動発電機(ディーゼル発電機)運転 定格容量60kVA	1	日			単第0-0018　表
雑材料	10	%			#09
１m当り(計／１日当り製管延長)		m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			

施工単価表

機-16_発動発電機(ディーゼル発電機)運転　SM1600042　単第0 -0018　表

定格容量60kVA　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	50.00	L			
<賃>発動発電機(ディーゼル発電機) 定格容量60kVA 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	1.20	供用日			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=9　定格容量60kVA C=1.2　機械賃料数量(供用日/日)			B=50　燃料消費量(L/日)		

施工単価表

更生管材溶接工　　V0000000023　　単第0 -0019　表

1　箇所　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
トンネル世話役	1	人			
トンネル特殊工	2	人			
トンネル作業員	2	人			
普通作業員	1	人			
塩ビ溶接機損料	1.75	日			
雑材料	50	%			#09
計／1日当り溶接箇所(8箇所)		箇所			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	箇所			

施工単価表

注入口取付工　　V0000000024　　単第0 -0020　表

1　スパン　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
粘土モルタル 配合(1：1)	0.008	m3			単第0-0021　表
土木一般世話役	0.09	人			
普通作業員	0.27	人			
注入口損料（円形管） 既設管径 800mm	1	スパン			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	スパン			

施工単価表

粘土モルタル　　V0000000052　　単第0 -0021　表

配合(1：1)　　1　m3　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
普通作業員	0.64	人			
粘土	1.16	t			
セメント(バラ) 普通ポルトランド	1.16	t			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m3			

施工単価表

支保工兼浮上防止工　　V0000000025　　単第0 -0022　表

製管径 730mm以上　　1　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
トンネル世話役	1	人			
トンネル特殊工	1	人			
トンネル作業員	2	人			
特殊作業員	1	人			
普通作業員	1	人			
雑材料	3	%			#09
１日あたり		式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			

施工単価表

支保材損料　　V0000000048　　単第0 -0023　表

製管径 730mm　　1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
支保材損料 製管径 730mm	8	供用日			単第0-0024　表
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			

施工単価表

支保材損料　　V0000000047　　単第0 -0024　表

製管径 730mm　　1　　供用日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
支保材損料	38	セット			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	供用日			

施工単価表

注入工　　V0000000026　　単第0 -0025　表

1　m3　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
裏込め材 12N/mm2	11.23	m3			
トンネル世話役	1	人			
特殊作業員	2	人			
トンネル特殊工	1	人			
普通作業員	3	人			
トンネル作業員	1	人			
機-18_トラック運転 021_クレーン装置付 ベーストラック4t級 吊能力2.9t	1	日			単第0-0026　表
機-19_給水車運転 4t 121kW	1	日			単第0-0027　表
機-16_発動発電機(ディーゼル発電機)運転 定格容量60kVA	1	日			単第0-0018　表
裏込注入プラント車損料	1	日			
諸雑費	1	式			
1m3当り（計／1日当り注入量）		m3			

施工単価表

注入工　　V0000000026　　単第0 -0025　表

1　m3　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m3			

施工単価表

機-18_トラック運転　　SM1803020　　単第0 -0026　表

021_クレーン装置付　　ベーストラック4t級 吊能力2.9t　　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(特殊)	1.00	人			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	33.00	L			
トラック クレーン装置付 通称4～4.5t積級吊能力2.9t	1.20	供用日			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=2　021_クレーン装置付 C=1　運転労務数量(人/日) E=1.2　機械損料数量(供用日/日)			B=14　ベーストラック4t級 吊能力2.9t D=33　燃料消費量(L/日)		

施工単価表

機-19_給水車運転　　SM19G0001　　単第0 -0027　表

4t 121kW　　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(一般)	1.00	人			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	27.00	L			
給水車損料 4t 121kW	1.60	供用日			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=1　4t 121kW C=1　運転労務数量(人/日) E=1.6　機械損料数量(供用日/日)			B=11　給水車損料【登録単価CODE】(供用日) D=27　燃料消費量(L/日)		

施工単価表

本管口仕上工　　V0000000027　　単第0 -0028　表

既設管径 800mm　　1　箇所　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
上塗りモルタル 配合(1：2)	0.004	m3			単第0-0029　表
土木一般世話役	0.5	人			
特殊作業員	1.0	人			
普通作業員	0.5	人			
雑材料	3	%			#09
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	箇所			

施工単価表

上塗りモルタル　　V0000000053　　単第0 -0029　表

配合(1：2)　　1　m3　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
セメント(バラ) 普通ポルトランド	0.72	t			
コンクリート用砂 荒目(洗い)	0.95	m3			
普通作業員	1.3	人			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m3			

施工単価表

取付管口穿孔仕上工　　V0000000028　　単第0 -0030　表

製管径 730㎜以上　　1　　箇所　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
トンネル世話役	1	人			
トンネル特殊工	1	人			
トンネル作業員	1	人			
特殊作業員	1	人			
普通作業員	1	人			
雑材料	1	%			#09
1箇所当り		箇所			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	箇所			

施工単価表

製管設備設置撤去工　　V0000000029　　単第0 -0031　表

1　回　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
トンネル世話役	0.38	人			
トンネル特殊工	0.75	人			
トンネル作業員	0.75	人			
特殊作業員	0.38	人			
普通作業員	0.38	人			
トラック運転 021_クレーン装置付 ベーストラック4t級 吊能力2.9t	3	時間			単第0-0032　表
雑材料	2	%			#09
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	回			

施工単価表

トラック運転　SM0103020　単第0 -0032　表

021_クレーン装置付　ベーストラック4t級 吊能力2.9t　1　時間　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(特殊)	0.17	人			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	5.70	L			
トラック クレーン装置付 通称4～4.5t積級吊能力2.9t	1.00	時間			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	時間			
A=2　021_クレーン装置付 C=0.17　運転労務数量(人/時間) E=1　機械損料数量			B=14　ベーストラック4t級 吊能力2.9t D=5.7　燃料消費量(L/時間)		

施工単価表

巻出しリング作成工　　V0000000030　　単第0 -0033　表

自走式　　1　回　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
更生管材 硬質塩化ビニル樹脂 既設管径 800mm	29.31	m			
トンネル世話役	0.13	人			
トンネル特殊工	0.25	人			
トンネル作業員	0.25	人			
特殊作業員	0.13	人			
普通作業員	0.13	人			
機-16_発動発電機(ディーゼル発電機)運転 定格容量60kVA	0.13	日			単第0-0018　表
雑材料	2	%			#09
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	回			

施工単価表

製管機搬入組立工　　V0000000031　　単第0 -0034　表

1　回　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
トンネル世話役	0.19	人			
トンネル特殊工	0.38	人			
トンネル作業員	0.38	人			
特殊作業員	0.19	人			
普通作業員	0.19	人			
トラック運転 021_クレーン装置付 ベーストラック4t級 吊能力2.9t	1.5	時間			単第0-0032　表
雑材料	3	%			#09
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	回			

施工単価表

製管機分解搬出工　　V0000000032　　単第0 -0035　表

1　回　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
トンネル世話役	0.13	人			
トンネル特殊工	0.25	人			
トンネル作業員	0.25	人			
特殊作業員	0.13	人			
普通作業員	0.13	人			
トラック運転 021_クレーン装置付 ベーストラック4t級 吊能力2.9t	1	時間			単第0-0032　表
雑材料	3	%			#09
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	回			

施工単価表

機械器具損料　　V0000000033　　単第0 -0036　表

1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
製管機（自走式） 製管径 730mm	12	時間			
製管機（自走式） 製管径730mm	3.5	日			
油圧ユニット器具損料 3.7kw	12	時間			
油圧ユニット器具損料 3.7kw	3.5	日			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			

施工単価表

換気設備工　　SG1D2200001　　単第0 -0037　表

1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
軸流ファン 軸流式・定風量型 風量50/60(50/60Hz)m3/min風圧0.3/0.4kPa	1.0	日			
機-16_発動発電機(ディーゼル発電機)運転 定格容量25kVA	1.0	日			単第0-0038　表
諸雑費	12	%			#09
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			

施工単価表

機-16_発動発電機(ディーゼル発電機)運転　SM1600042　単第0 -0038　表

定格容量25kVA　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	17.00	L			
<賃>発動発電機(ディーゼル発電機) 定格容量25kVA 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	1.27	供用日			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=6　定格容量25kVA C=1.27　機械賃料数量(供用日/日)			B=17　燃料消費量(L/日)		

施工単価表

換気設備工　　V0000000017　　単第0 -0039　表

1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
送風機損料 軸流式50/60m3	2	日			
発動発電機運転工	2	日			単第0-0040　表
諸雑費	12	%			#01
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			

施工単価表

発動発電機運転工　　V0000000018　　単第0 -0040　表

1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	12	L			
<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量3kVA 低騒音	1.2	日			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			

施工単価表

管口耐震化工　　V0000000036　　単第0 -0041　表

既設管径 800mm　　1　箇所　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1	人			
トンネル世話役	1	人			
運転手(特殊)	1	人			
トンネル特殊工	2	人			
トンネル作業員	1	人			
スリーブ材 既設管径 800mm	1.2	箇所			
シール材	8,840	cm3			
トラック運転工 4.0t 2.0吊	1	日			単第0-0042　表
発電機運転工 45kVA	1	日			単第0-0043　表
誘導目地切削機損料 既設管径　800mm	1	日			
ブレード損料	3.36	m			
嵌合機損料 専用油圧ジャッキ	1	日			

施工単価表

管口耐震化工　　V0000000036　　単第0 -0041　表

既設管径 800mm　　1　　箇所　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
小型高圧洗浄機損料 60 84L/min	1	日			
軸流ファン 軸流式・定風量型 風量50/60(50/60Hz)m3/min風圧0.3/0.4kPa	1	日			
ガス検知器 携帯式 検知対象O2,HC,H2S,CO	1	日			
雑材料	6	%			#09
1箇所当り（計／1日当りの作業量）		式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	箇所			

施工単価表

トラック運転工　　V0000000037　　単第0 -0042　表

4.0t 2.0吊　　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
トラック クレーン装置付 通称4～4.5t積級吊能力2.0t	6	時間			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	31.8	L			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			

施工単価表

発電機運転工　　V0000000038　　単第0 -0043　表

45kVA　　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
発動発電機 ディーゼルエンジン駆動(超低騒音型)・排2 定格容量(50/60Hz)37/45kVA	1	日			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	31.2	L			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			

施工単価表

事前調査工　　V0000000039　　単第0 -0044　表

既設管径 800mm　　1　箇所　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1	人			
トンネル世話役	1	人			
トンネル特殊工	1	人			
トンネル作業員	2	人			
ライトバン運転費	1	日			単第0-0045　表
発電機運転工 2kVA	1	日			単第0-0046　表
管内測定装置 既設管径　700mm以上	1	日			
軸流ファン 軸流式・定風量型 風量50/60(50/60Hz)m3/min風圧0.3/0.4kPa	1	日			
ガス検知器 携帯式 検知対象O2,HC,H2S,CO	1	日			
雑材料	3	%			#09
１箇所当り（計／１日当りの作業量）		箇所			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	箇所			

施工単価表

ライトバン運転費　　V0000000040　　単第0 -0045　表

1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
ライトバン ガソリンエンジン駆動 乗車定員5名排気量1.5L	6	時間			
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	16.2	L			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			

施工単価表

発電機運転工　　V0000000041　　単第0 -0046　表

2kVA　　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
発動発電機 ガソリンエンジン駆動 定格容量2kVA	1	日			
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	7.2	L			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			

施工単価表

既設管内調査工　　V0000000019　　単第0 -0047　表

1　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
管路調査技師	1	人			
管路調査助手	1	人			
管路調査作業員	3	人			
ライトバン運転工	1	日			単第0-0048　表
１m当り		式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			

施工単価表

ライトバン運転工　　V0000000046　　単第0 -0048　表

1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	7.8	L			
ライトバン損料 1500cc	1	日			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			

施工単価表

管きょ内洗浄工　　VSEI001　　単第0 -0049　表

1　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.6	人			
特殊作業員	0.6	人			
普通作業員	0.6	人			
高圧洗浄車運転工 4ｔ　147kW	3.9	時間			単第0-0050　表
給水車運転工 4ｔ　132kW	35.5	日			単第0-0051　表
諸雑費	1	式			
全体割増		式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			

施工単価表

高圧洗浄車運転工　　VSEI00101　　単第0 -0050　表

4ｔ　147kW　　1　時間　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(特殊)	0.22	人			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	6.8	L			
高圧洗浄車損料 4t	1	時間			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	時間			

施工単価表

給水車運転工　　VSEI00102　　単第0 -0051　表

4ｔ　132kW　　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(一般)	0.25	人			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	6.8	L			
給水車損料 4t	1	時間			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			

施工単価表

既設管洗浄工　　V0000000006　　単第0 -0052　表

1　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1	人			
トンネル特殊工	1	人			
トンネル作業員	1	人			
普通作業員	1	人			
工事用高圧洗浄機 7.8MPa	1	日			
発電機運転工	1	日			単第0-0003　表
給水車運転工	1	日			単第0-0010　表
１m当り(計／１日当り作業量)		式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			

施工単価表

取付管突出処理工　　VSY0001　　単第0 -0053　表

150㎜～800㎜未満　　9　　箇所　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
清掃技師	1	人			
管路調査技師 (外業)	1	人			
管路調査助手 (外業)	1	人			
特殊作業員	1	人			
普通作業員 (外業)	1	人			
TVカメラ搭載車運転工 2t	1	日			単第0-0054　表
穿孔機車運転工 2t	1	日			単第0-0055　表
高圧洗浄車工 143kW　4t	1	日			単第0-0056　表
＊＊＊　合計　＊＊＊	9	箇所			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	箇所			

施工単価表

TVカメラ搭載車運転工　　VSY000101　　単第0 -0054　表

2t　　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(一般)	1	人			
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	11	L			
本管用TVカメラ車損料 2t	1.3	供用日			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			

施工単価表

穿孔機車運転工　　VSY000102　　単第0 -0055　表

2t　　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(一般)	1	人			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	25	L			
穿孔機車損料	1.2	供用日			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			

施工単価表

高圧洗浄車工　　VSY000103　　単第0 -0056　表

143kW　4t　　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(一般)	1	人			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	27	L			
高圧洗浄車損料 4t　143～154kW	1.3	供用日			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			

施工単価表

モルタル等除去工　VSY0003　単第0 -0057　表

木根除去　150㎜～800㎜未満　18　箇所　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
清掃技師	1	人			
管路調査技師 (外業)	1	人			
管路調査助手 (外業)	1	人			
特殊作業員	1	人			
普通作業員 (外業)	1	人			
TVカメラ搭載車運転工 2t	1	日			単第0-0054　表
超高圧洗浄車工 4t　143kW	1	日			単第0-0058　表
給水車運転工 4ｔ　121kW	1	日			単第0-0059　表
＊＊＊　合計　＊＊＊	18	箇所			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	箇所			

施工単価表

超高圧洗浄車工　　VSY000201　　単第0 -0058　表

4t　143kW　　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(一般)	1	人			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	27	L			
超高圧洗浄車損料 4t　143～154kW	1.3	供用日			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			

施工単価表

給水車運転工　　VSY000202　　単第0 -0059　表

4ｔ　121kW　　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(一般)	1	人			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	19	L			
給水車損料 4t　121kW	1.6	供用日			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			